



映画『湯を沸かすほどの熱い愛』

足利市ロケ地情報

10月29日公開、映画『湯を沸かすほどの熱い愛』は、その大部分が足利市で撮影された作品です。舞台設定も足利市であり、随所に見慣れたロケーションが登場します。この秋、激推しの大感動作！胸を熱くさせること間違いなしの本作をぜひ劇場でご覧ください！！

花乃湯

足利市巴町にある市内唯一の銭湯「花乃湯」が今作のメインロケ地となった。双葉（宮沢りえ）らが営む銭湯「幸の湯」として登場する。



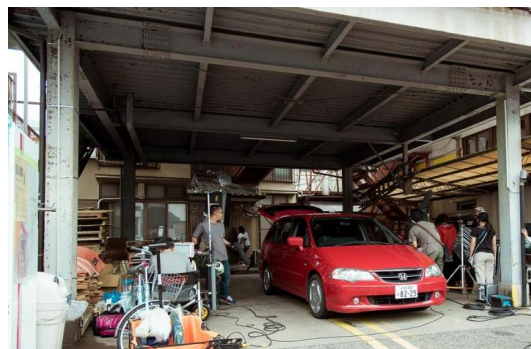
©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会

「幸の湯」となった店前での家族写真

創業1953年、昭和の雰囲気を残す北仲通りには古風なお店が多数並ぶが、花乃湯は其中でも一際存在感を放つ。その渋さと昭和のロマンが漂うたまたま、懐かしさを感じさせる店内は撮影関係者からも好評で、撮影が行われていた期間中には、本作で監督を務めた中野量太監督をはじめとする撮影スタッフ達が花乃湯のお湯を満喫していた。昔ながらの窯場も実際に使われ、店主の高畑さんが所作を指導。煙突からのぼる煙も印象的である。

ちなみに銭湯内部の撮影は、東京最古級の銭湯「月の湯」。こちらは残念ながら2015年5月末をもって廃業している。

営業時間 13:30～22:00
定休日 毎週日曜日
住所 足利市巴町2541-1



©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会

花乃湯駐車場での撮影風景

織姫神社

市内でも代表的な観光スポットとなっている織姫神社。スクリーン映えする迫力とその美しさから、近年では映画『64-ロクヨン-』や映画『ちはやふる』などでも使用されている。



劇中では、足利市の景観を印象づけるシーンで登場。古式ゆかしい雅楽生演奏での挙式も行うことができる。2014年には産業振興と縁結びの神様として【恋人の聖地】に認定された。その記念として「愛の鐘」が設置されている。

229段の階段を上った境内からの景色は、日本夜景遺産に認定されており、多くの方々から親しまれている。

住所 足利市西宮町3889
電話 0284-22-0313
公式サイト <http://www.orihimejinjya.com/>

旧県立足利西高校

足利市立第二中学校

安澄(杉咲花)が通う高校として登場。旧県立足利西高校は廃校であるため、職員室や特別教室などは実際の学校をお借りすることが多い。今回も学校関係者の皆さまのご協力のもと、保健室、美術室をお借りした。公募により集まっていた多くの皆さまにエキストラとして参加いただき、普段の学校生活と変わらぬ様子で撮影が行われた。



©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会



©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

本庄記念病院

病院という性質上、映画のロケなどでは病院に見立てた場所を装飾しての撮影が多い。今回は本庄記念病院様に特別に許可をいただき、撮影が行われた。再現でない、本物の病院のディテールが感じられるはず。雨が降っているシーンは撮影スタッフによる、いわゆる「雨ふらし」。2本のホースを駆使した雨の夜はまるで本当に降っているかのよう。ぜひお楽しみに♪



©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会



©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会

メゾンジュネス

今福町にあるアパート。家出した一浩(オダギリジョー)が住むアパートとして登場。双葉がここに住む一浩を見つけた後、一気に物語が展開されてゆく。

緑ヶ丘育成園

葉鹿町にある社会福祉法人 渡良瀬会 緑ヶ丘育成園は、障害者支援施設として、生活介護と施設入所支援を行っている。普通お借りすることは出来ない施設だが、本作品の内容に感銘を受けた代表の決断と関係者の方々のご協力により、感動のクライマックスシーンが実現した。



その他撮影にご協力いただいた皆さま

株式会社さくら屋 堀越商事株式会社 株式会社マルサン
株式会社 想我 足利織物会館 山川町一丁目自治会
エキストラでご参加いただいた皆さま



ありがとうございました！！

作成：足利市映像のまち推進課